

平成19年度事業報告(案)

会 員	5 1 8 人
役 員	
会 長	1 人
副 会 長	4 人
理 事	2 5 人
監 事	3 人

(物故会員)

竹俣 高行(元東京都中野北保健所)
能見 晃(元兵庫県西宮保健所保健所)

総 会

60周年記念及び第64回全国保健所長会総会

日 時:平成19年10月23日(火)

場 所:愛媛県・メルパルク松山

1.第53回全国保健所長会会長表彰式

2.60周年記念特別表彰式

3.講演「地域保健の最近の動向」 岡本 浩二厚生労働省大臣官房参事官

4.会長講演「60周年を迎えて」 角野 文彦会長

5.報告事項

(1)会務報告(土居常務理事)

(2)担当理事会報告

1)総務担当(土居常務理事)

2)渉外担当(宇田副常務理事)

3)学術担当(佐々木常務理事)

4)研修担当(山田常務理事)

5)広報担当(中西常務理事)

(3)委員会報告

1)地域保健の充実強化に関する委員会(廣田委員長)

2)健康危機管理に関する委員会(岸本委員長)

3)60周年記念誌編集委員会(伊藤委員長)

6.議事

(1)平成18年度事業報告(案)及び収入支出決算(案)について

土居総務担当常務理事より説明、井口監事より監査報告があり原案どおり承認された。

(2)平成19年度収入支出補正予算(案)について

土居総務担当常務理事より説明があり、原案どおり承認された。

(3)平成20年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)について

土居総務担当常務理事より説明があり、原案どおり承認された。

(4)役員改選について

村主推薦委員会委員長より説明があり、原案通り承認された。

(5)その他

7.名誉会員推戴

澤 節子(前東京都墨田区保健所長)、眞田 英機(前長野県長野保健所長)

木村 眞理(元愛媛県今治保健所長)

8.財団法人日本公衆衛生協会の事業について

北川 定謙((財)日本公衆衛生協会理事長)

9. 記念シンポジウム

「地域保健法施行10年の軌跡とこれからの展望」

座長 岡本 浩二（厚生労働省大臣官房参事官）

澁谷いづみ（愛知県半田保健所）

シンポジスト

伊藤 善信（秋田県秋田中央保健所）

大江 浩（富山県新川厚生センター）

大熊 恒郎（仙台市青葉保健所）

櫃本 真聿（愛媛大学医学部附属病院医療福祉支援センター）

10. 記念講演会

「健康と文明 - 感染症への挑戦を中心として」

尾身 茂（WHO西太平洋地域事務局長）

角野 文彦（滋賀県東近江保健所）

・理 事 会

1. 第1回理事会

日 時：平成19年5月15日（火）

場 所：（財）日本公衆衛生協会3階会議室

（1）報告事項

総務・渉外・学術・研修・広報担当報告

（土居常務理事・伊地智常務理事・佐々木常務理事・山田常務理事・中西常務理事）

委員会報告

地域保健の充実強化に関する委員会（伊藤副会長）

健康危機管理に関する委員会（丹野理事）

60周年記念誌編集委員会（伊藤副会長）

その他報告

厚生科学審議会等（澁谷副会長）

（2）議 題

1）今期の全国保健所長会の体制および運営について

土居常務理事より19年度の役員、保健所数について説明があった。また、2つの委員会の存続について理事会で検討され、存続することです承された。

2）平成18年度事業報告（案）について

土居常務理事より説明があった。

3）平成18年度収入支出決算（案）について

土居常務理事より説明があった。

4）第64回全国保健所長会総会及び60周年記念行事の運営について

土居常務理事より開催要領にもとづき説明があり、記念講演についてはWHO西太平洋地域事務局の尾身茂局長に依頼することになった。

5）60周年記念誌作成状況について

伊藤委員長より、作成状況及び構成について説明があった。

6）平成19年度全国保健所長会ブロック別「医療制度改革地域保健研修」について

澁谷副会長より、研修会の日程等について説明があった。また、研修会の結果などを年度中にとりまとめることになった。

7) その他

2. 第2回理事会

日 時：平成19年8月21日(火)

場 所：(財)日本公衆衛生協会3階会議室

(1) 報告事項

総務・渉外・学術・研修・広報担当報告

(土居常務理事・伊地智常務理事・佐々木常務理事・赤穂常務理事・中西常務理事)

委員会報告

地域保健の充実強化に関する委員会(廣田理事)

健康危機管理に関する委員会(澁谷副会長)

60周年記念誌編集委員会(伊藤副会長)

その他報告

厚生科学審議会等(澁谷副会長)

(2) 議 題

1) 平成19年度収入支出補正予算(案)について

土居常務理事より説明があり、原案どおり承認され、総会に提案することになった。

2) 平成20収入支出予算(案)について

土居常務理事より説明があり、原案どおり承認され、総会に提案することになった。

3) 第64回全国保健所長会総会及び60周年記念式典について

準備状況について、土井副会長、土居常務理事より報告があった。

4) 名誉会員の推薦について

角野会長より説明があり、今年度推薦のあった名誉会員候補者3名全員が規程に該当すると認められた。

5) 次期会長および監事候補の推薦について

村主副会長、土居常務理事より説明があり、次期会長に澁谷いづみ現副会長(愛知県半田保健所)、次期監事に野尻所長(和歌山県御坊)、井口所長(特別区江東区)、遠藤所長(福島県県南)が推薦された。

6) その他

3. 第3回理事会

日 時：平成20年2月19日(火)

場 所：(財)日本公衆衛生協会3階会議室

(1) 報告事項

総務・渉外・学術・研修・広報担当報告

(土居常務理事・伊地智常務理事・佐々木常務理事・山田常務理事・中西常務理事)

委員会報告

地域保健の充実強化に関する委員会(廣田理事)

健康危機管理に関する委員会(佐々木理事)

60周年記念誌編集委員会(伊藤副会長)

その他報告

厚生科学審議会等(澁谷副会長)

(2) 議 題

- 1) 平成21年度保健所行政の施策及び予算に関する要望書(案)について
伊地智渉外担当常務理事より説明があり、5月の理事会で承認して厚生労働省他に提出予定となった。
- 2) 全国保健所長会倫理宣言について
佐々木常務理事より説明があり、原案どおり承認され、ホームページに掲載することとなった。
- 3) 第65回全国保健所長会総会の運営について
平野副会長より、福岡県の準備状況について説明があった。
- 4) 中国産冷凍ギョウザによる健康被害事例を受けた全国保健所長会の今後の対応「緊急声明」について
角野会長より会員向けメッセージ案及び厚生労働省への申し入れ案について説明があり、理事会で協議を行った。完成したものは会員向けメッセージをホームページに掲載、また、厚生労働大臣宛に申し入れを行う。
- 5) その他

4. 担当理事会報告

(1) 渉外担当理事会

1. 渉外担当理事会

渉外担当理事会は年3回の全体理事会日にあわせて開催し、その他随時メール等で協議を行った。

2. 国への「保健所行政の施策及び予算に関する要望書」関連事項

(ア) 「平成20年度保健所行政の施策及び予算に関する要望書」の提出

平成19年7月13日：角野会長、副会長、渉外担当理事が厚生労働省大臣官房岡本参事官、結核感染症課三宅課長らと面談し要望書を提出。

(イ) 平成21年度の要望書作成

渉外担当理事会の要望書作成方針を平成20年2月の理事会にて承認を受けた後、要望書案を作成。5月以降に会員への意見聴取、理事会の承認を受けた後に厚労省へ提出(本要望書は平成20年7月16日に厚労省を訪問、提出済み)。

要望書の作成方針は昨年度と同じ。

1. 昨年度の内容修正に際しての留意点

(ア) 特に医療制度改革関連、食の安全、新型インフルエンザ対策

(イ) がん対策、肝炎対策、麻しん排除計画

3. 他団体との連携活動

(ア) 保健師長会との連携

平成19年度地域保健総合推進事業での連携(合同での研究)

1. 介護予防と保健師の活動に関する調査研究

2. 公衆衛生活動を活性化するための保健所長・保健所医師と保健所及び市町村保健センター保健師の協働のあり方に関する研究

3. 政令市保健所における保健師活動の課題に関する調査研究

国への要望書に関する情報交換

(イ) 全国衛生部長会などとの連携について検討

(2) 学術担当理事会

1. 地域保健総合推進事業について

- ・平成20年1月28日までに平成20年度地域保健総合推進事業の募集案を作成。メール理事会にて承認を得、全国保健所長会会員に周知。
- ・一般課題のほか、指定課題は以下の四題とした。

地域医療連携体制の維持・発展に関する研究

保健所における新型インフルエンザ対策に関する研究

医師臨床研修「地域保健・医療」に関する研究

保健所におけるがん対策

- ・締め切り平成20年2月20日までに、18題の応募があった。
- ・平成20年2月28日関係者により調整会議が行われ、推薦した18題のうち、以下の9題が採択された。

地域連携体制の構築と評価に関する研究

地域連携クリティカルパスの普及・推進に関する研究

保健所新型インフルエンザ対策行動計画(案)及び想定事例集作成事業

医師臨床研修「地域保健・医療」の成果と課題に関する研究

医療制度改革における生活習慣病対策に関する市区型保健所と県型保健所の役割に関する検討

専門性を確保した保健衛生行政の中での市型及び県型保健所のあり方についての検討

歯科、医科連携による歯周疾患アプローチに関する研究

健康格差に着目したポピュレーション・ストラテジーの効果的方法に関する調査研究

原因不明の食中毒についての研究(仮称)

2. 全国保健所長会倫理宣言の作成について

平成20年2月19日までに、メールにて担当理事会を行い、全国保健所長会「疫学研究を行うにあたっての倫理宣言(案)」を作成。同日理事会に提案。承認となる。同日、全国保健所長会ホームページに掲載。会員に周知した。

(3) 研修担当理事会

1. 第1回研修担当理事会

開催日時：平成19年5月15日 10時～

会場：日本公衆衛生協会会議室

研修担当理事の決定：顧問 澁谷 いづみ 副会長(愛知県半田保健所長)
常務理事 山田 全啓(奈良県郡山保健所長)
副常務理事 大井 照(東京都千代田区千代田保健所長)
理事 南 睦男(福井県丹南保健所長)
理事 丸山 保夫(香川県中讃保健所長)
理事 佐藤 恭信(東京都島しょ保健所)

平成19年度 全国保健所長会研修会の開催について

< 申し合わせ事項 >

日 程：平成20年1月下旬から2月上旬を目途とする。

会 場：関西（京都、大阪、神戸）で調整する。

テーマ：健康格差社会において感染症、虐待、自殺、災害弱者、外国人等の具体的事例に今後保健所としてどのように取り組むかを研修テーマとする。今後メール等で意見交換しながら、次回の理事会までに大枠を決定していく。

2. 第2回研修担当理事会

開催日時：平成19年8月21日 10時～

会 場：日本公衆衛生協会会議室

平成19年度研修会企画（案）について協議

日 程：平成20年1月31日～2月1日

会 場：京都市こどもみらい館

メインテーマ：健康格差社会と保健所に求められるもの

サブテーマ：医療制度改革地域保健研修総括

新型インフルエンザ対策

【主要な視点】

健康格差について基調講演の講師とパネルディスカッションの候補について検討された。

【プログラム枠組み例】

1月31日

災害弱者対策（講演＋H-Crisis）

候補 厚生労働省医政局指導課 佐々木補佐

国立保健医療科学院公衆衛生政策部 曾根部長

新型インフルエンザ対策（講演＋研究班報告）

候補 東北大学医学系研究科 押谷教授

広島県備北地域保健所 岸本所長

医療制度改革地域保健研修総括（研究班報告＋グループワーク）

候補 北海道岩見沢保健所 廣田所長

2月1日

健康格差社会と保健所に求められるもの（講演1，講演2，講演3）

候補 日本福祉大学社会福祉学部 近藤教授

国立保健医療科学院疫学部疫学情報室 福田室長

NPO法人自殺対策支援センターライフリンク 清水代表

パネルディスカッション（保健所事例報告1，2，3＋ディスカッション）

候補 結核・感染症：大阪市保健所

母子保健：（虐待）京都市伏見保健所醍醐支所

災害弱者：尼崎市保健所、新潟県柏崎保健所

自殺対策：秋田県中央保健所、青森県五所川原保健所

3. 平成19年度全国保健所長会研修会の実施

平成20年1月31日、2月1日の2日間 第3回理事会にて開催報告

4. 第3回研修担当理事会

研修会開催報告

開催日時：平成20年2月19日

会 場：日本公衆衛生協会会議室

・・・平成20年度研修会開催報告・・・

研修会の開催日時及び内容等

開催日時：平成20年1月31日～2月1日

会 場：京都市こどもみらい館

京都市中京区間之町通竹屋町下る楠町601番地の1

テ ー マ：健康格差社会と保健所に求められるもの

内容、講師：別添プログラムのとおり

意見交換会：ハートンホテル京都にて開催 1月31日 18：30～

参加者数：参加者（実人数）：112人 会員：87人（77.7%）、

非会員：25人（22.3%） 1日目：95人、2日目：106人

資料集作成等

講師から提供を受けたPPT等資料を「資料集」として冊子印刷、受講者に配布

収支報告 収入：737,220円 支出：809,093円 71,873円

講師謝金・旅費等が当初予定を上回り、決算で71,873円の支出超過となった。

(4) 広報担当理事会

1. 概要；平成17年9月に広報理事として中西がホームページ受け継いで、ホームページをリニューアルし、平成20年3月末までに、コンテンツファイル数1046、実閲覧477,645ホスト、計230万件の閲覧をしていただきました。これもひとえに全国保健所長会会員各位からの情報をいただきホームページの内容が充実した賜物と思います。

改めて、全国保健所長会会員各位のご協力に深謝します。

なお、これまでのホームページ運営状況とアクセス解析については、ホームページ上にも掲載しています。<http://www.phcd.jp/hp.html>

ホームページ契約内容

OCNメール&ウェブスタンダード（ディスク300MB、データ転送量15GB 5,985円/月）に変更

2. 公衆衛生情報掲載

「保健所長会から皆さんへ」のページ 担当 前板橋区保健所長 山口鶴子

2007年4月号 横浜市港北福祉保健センター長 古橋 彰
横浜市の保健所について

2007年6月号 板橋区保健所長 山口 鶴子
毎日が健康危機管理 ～感染症法改正を機能強化の契機と捉えて～

2007年8月号 愛媛県松山保健所長 土井 光徳
愛媛県での全国保健所長会60周年記念総会および
第66回日本公衆衛生学会総会開催について

2007年10月号 福山市保健所長兼保健部長 田中 知徳
市型保健所における所長の役割

2007年12月号 新潟県柏崎地域振興局健康福祉部医監（柏崎保健所長）堀井 淳一
中越沖地震における対応に思う

2008年2月号 角野文彦

別紙

全国保健所長会 ホームページ運営要綱

(目的)

第1条 全国保健所長会の活動や公衆衛生行政に関する情報をインターネットで積極的に公開、提供するために、ホームページの運営について、必要な事項を定める。

(開設者・管理者等)

第2条 ホームページの開設者は、全国保健所長会会長とする。

2 ホームページの管理者は、全国保健所長会広報担当常務理事とする。

3 管理者は、ホームページの運営に関し、疑義を生じる事項があるときは、全国保健所長会理事会で協議するものとする。

4 全国保健所長会会員は、掲載情報の提供に積極的に協力するものとする。

(掲載する情報)

第3条 ホームページに掲載する情報は、次のとおりとする。

一 全国保健所長会の概要

会則及び規定、沿革、組織、役員

二 総会報告

三 理事会報告

四 委員会報告

五 都道府県ブロック、政令市、特別区部会活動

六 各保健所の紹介

七 研究班報告

八 国への意見書・要請書等

九 会員へのお知らせ

十 全国保健所長会からみなさんへ

十一 リンク集(公衆衛生行政等)

十二 その他全国保健所長会及び公衆衛生に関する情報

(制限事項)

第4条 管理者は、ホームページの運営に当たり、次の各号に掲げる事項に留意するものとする。

一 公序良俗に反する情報は掲載しない。

二 特定個人や団体を誹謗愁傷するものは掲載しない。

三 営利行為を助長することのないよう、また政治的・宗教的中立性を損なうことのないように配慮する。

四 個人情報については、法令を順守し、その十分な保護を図る。

五 全国保健所長会の運営の実態に反し、誤解を与えるおそれのある情報は掲載しない。

六 著作権については、著作権法(昭和45年法律第48号)等関係法令を遵守する。

七 コンピュータウイルスの感染防止に努める。

八 管理者は、前項の規定に該当し、又は情報が改ざんされていると認められるときは、当該情報をすみやかに削除するものとする。

付 則

この要綱は、平成17年8月23日から施行する。

・委員会活動報告

【地域保健の充実強化に関する委員会】

1. 委員会構成

顧問：伊藤善信（秋田県中央）村主千明（新宿区）

委員：廣田洋子（北海道岩見沢）（委員長）田上豊資（高知県中央東福祉）（副委員長）竹内徳男（北海道渡島）山中朋子（青森県五所川原）小谷尚克（福島県南会津）大橋俊子（栃木県県北）吉村伸子（渋谷区）永井 恵（豊島区池袋）東海林文夫（葛飾区）大森治郎（横須賀市）大江浩（富山県新川厚生センター）中川昭生（島根県益田）岡紳爾（山口県宇部環境保健所）宇田英典（鹿児島県鹿屋）

2. 委員会開催状況

第1回委員会 日時：平成19年8月2日13:30～16:00（日本公衆衛生協会会議室）

第2回委員会 日時：平成20年3月11日13:30～16:30（日本公衆衛生協会会議室）

3. 19年度の事業について

保健所における医療安全指針等の作成について、調査と提言（6 - 7月）

「地域保健・医療」研修について、調査、指導者養成および研修テキスト改訂を行った。

・研修アンケートでは研修医受け入れ状況の他、保健所以外の「地域保健・医療」研修施設の種類の研修調整についても調査した。（11月）

・指導者養成ワークショップは11月16・17日に東京で開催。（参加者34名）・研修テキストについては「医師臨床研修」研究班および委員会メンバーが執筆委員になり改訂実施した。

「煙対策行動宣言アンケート」については、4年目の継続調査を実施した。（11月）

「保健所長医師資格要件見直し」に関する保健所長の意見を取りまとめた。（12月）

17年度に委員会が出した保健所が取り組むべき課題「提言」を再検討、「地域保健総合推進事業（医療制度改革推進班およびその他の医療制度改革関連研究班）」での検討を受け、「保健所の充実強化に関する提言」を作成した。（3月）

4. 20年度に向けた課題

・「地域保健対策の推進に関する基本的な指針に対する意見」を保健所長会から提言するべきとの意見あり、検討して行きたい。

・平成15年に「喫煙対策の推進に関する行動宣言」を出して5年が経過しているので、実態調査だけではなく「行動宣言」自体の評価を行う時期に来ていると言える。

・医師臨床研修「地域保健・医療」の成果と課題を検討する。

【健康危機管理に関する委員会】

1. 委員会が担う役割

- (1) 地域健康危機管理研究事業その他の関連する事業と連動した健康危機管理に関する体制の検討
- (2) 全国への情報発信
- (3) 健康危機管理に関する随時の課題に対する検討

2. 委員会構成

澁谷いづみ（顧問：愛知半田）、岸本 泰子（委員長：島根県央）、高野 正子（副委員長：大阪吹田）、荒田 吉彦（北海道室蘭）、石田久美子（茨城つくば）、岸本 益実（広島備北地域）、佐々木隆一郎（長野飯田）、佐藤 恭信（東京島しょ）、永井 伸彦（秋田横手）、中島 守（埼玉本庄）、中瀬 克己（岡山市）、松本 一年（愛知衣浦東部）

3. 委員会等開催状況

(1) 第1回健康危機管理に関する委員会

日 時：平成 19 年 7 月 30 日

場 所：日本公衆衛生協会

出席者：澁谷いづみ、岸本 泰子、高野 正子、荒田吉彦、岸本 益実、永井 伸彦
石田久美子、佐々木隆一郎、佐藤 恭信、松本 一年、中瀬 克己、中島 守

内 容：

地域健康危機管理研究事業「健康危機管理体制の評価指標、効果の評価に関する研究」の事例収集体制検討班と意見交換。

健康危機管理に関する委員会の事業について意見交換。

以下の3点を柱とすることを確認。

- ・地域健康危機管理研究事業その他の関連する事業と連動した健康危機管理に関する体制の検討
- ・全国への情報発信
- ・健康危機管理に関する随時の課題に対する検討

(2) 第2回健康危機管理に関する委員会

日 時：平成 19 年 11 月 27 日

場 所：日本公衆衛生協会

出席者：澁谷いづみ、岸本 泰子、高野 正子、岸本 益実、石田久美子、佐藤 恭信
中瀬 克己、中島 守

内 容：

今年度報告された健康危機事例のうち詳細報告を求める事例を抽出し、H-CRISIS 掲載を依頼。

「診療行為に関連した死亡の死因究明のあり方に関する試案」について、事前に把握した各委員の意見を基に意見交換。

区域災害・救急医療情報システムについて、災害時に保健所が代行入力することの是非について検討し、リアルタイムな状況把握が必要なことから病院による入力が最善であり、代行入力を行わないこととした。

(3) 第3回健康危機管理に関する委員会

(「地域健康危機管理体制の評価指標、効果の評価に関する研究」食品安全班と合同会議)

日 時：平成20年2月29日

場 所：都市センターホテル

出席者：角野 文彦、伊藤 善信、村主 千明、澁谷いづみ、岸本 泰子、高野 正子

荒田 吉彦、岸本 益実、石田久美子、佐々木隆一郎、佐藤 恭信、中瀬 克己

内 容：

中国産冷凍ギョーザによる食中毒に係る保健所の対応

- ・平成20年2月20日実施の視察報告
- ・保健所の対応について意見交換(検証)

今後の取り組みについて

- ・食品安全班作成の評価表(食品安全の健康危機管理・平常時)による全保健所への緊急調査の実施
ただし、一般住民からの食中毒等の届出・通報を夜間・休日も円滑に受理できるかどうかについて追加
- ・視察報告の作成
- ・3保健所に保健医療科学院 H-CRISIS への登載依頼

4. その他の事業

(1) 現地視察の実施(食品安全班と合同実施)

視察目的

中国産冷凍ギョーザによる食中毒に係る保健所の対応について

視察団の編成

岸本 泰子、高野 正子、谷口 栄作(食品安全班)、研究班事務局

視察日程

- ・平成20年2月20日 11:30~12:30 千葉縣市川保健所
- ・平成20年2月20日 13:30~16:00 千葉市保健所

なお、兵庫県加古川保健所については、資料・電話にて状況把握

視察報告

- ・平成20年2月28日地域保健総合推進事業発表会で報告
- ・地域保健総合推進事業報告書(食品安全班)に掲載
- ・平成20年2月29日 第3回健康危機管理に関する委員会で報告

(2) 緊急調査の実施(食品安全班と共同実施)

調査目的

保健所における食品安全の健康危機管理（平常時）を把握する

対象

全保健所

調査期間

平成 20 年 3 月 6 日～平成 20 年 3 月 25 日

平成 20 年 3 月 28 日各保健所長会長に督促を依頼し、4 月 4 日締め切り

この時点で回答率 58.5%。

【60周年記念誌編集委員会】

1. 第1回委員会の開催

日時：平成19年5月14日（水） 14：00～17：00

場所：（財）日本公衆衛生協会3階会議室

出席者：伊藤善信、南部由美子、櫻井令子、大井 照、村主千明（代理出席）

議題：

1) 記念誌作成への取組状況について

(1) 60周年記念式典状況報告について

(2) 研究事業の成果について

(3) 保健所長会の変遷について

(4) わが保健所長会を語るについて

(5) 全国保健所長会の思い出について

(6) 資料集の作成について

2) 今後の予定について（タイムスケジュール）

2. 第2回委員会の開催

日時：平成19年8月20日（月） 14：00～17：00

場所：（財）日本公衆衛生協会 5階役員室

出席者：伊藤善信、南部由美子、岸本益実、中西好子、櫻井令子、大井 照、村主千明（代理出席）

議題：

1) 記念誌作成への取組状況について

(1) 60周年記念式典状況報告について（渉外・広報）

(2) 祝辞等について（渉外）

(3) 研究事業の成果について（学術）

(4) 保健所長会の変遷について（総務・伊藤）

(5) わが保健所長会を語るについて（総務）

(6) 全国保健所長会の思い出・保健所の思い出について（研修）

(7) 資料集の作成について（総務）

2) 今後の予定について(タイムスケジュール)

3. 第3回委員会の開催

日時：平成19年11月30日(金) 13:00~16:00

場所：(財)日本公衆衛生協会3階会議室

出席者：伊藤善信委員長(秋田県秋田中央)、櫻井令子(学術：名古屋市中村保健所、浦山京子(特別区;中野区保健所長、中西所長代理)

岡本さやか(事務局)、(株)ニッポンパブリシティー 営業部長 小林 剛

議題 (1) 各セクションの最終集積状況の確認

(2) 記念誌掲載内容について

(3) 今後のスケジュール

4. 発送

発送日 : 4月10日

印刷部数 : 1,750部

発送箇所 : 639箇所

発送部数 : 1,588部

地域ブロック活動

【北海道地域ブロック】

地域保健研修会(60周年記念講演会)

1. 日時 平成19年11月10日(土)午後1時~4時45分

2. 場所 北海道自治労会館 3階会議室

3. 参加者 33名(医師、保健師、X線技師など)

4. 内容 講演1「札幌市におけるQFTの導入と今後の展望」

札幌市衛生研究所(所長) 矢野公一 先生

講演2「結核対策における最新の知見と新しい手引きのポイント」

結核予防会結核研究所(研究部長) 加藤誠也先生

平成19年度第2回北海道保健所長会理事会

1. 日時 平成20年1月25日(水)午後1:30~16:30

2. 場所 KKRホテル札幌 2階 あおい

3. 出席者 8 道立保健所理事1 政令市理事(オブザーバー)保健福祉部技監

4. 保健福祉部連絡事項

支庁制度改革について(総務課)

資料に基づき支庁制度改革の現段階について説明を受けた。

「保健所のあり方検討」の経過について(健康推進課)

平成18年に中間報告書を出したが、支庁制度改革のねらいや、保健医療分野の諸々の制度改革を踏まえながら、平成19年度より保健所のあり方検討を再開した。

今現在の保健所機能のみ切り出して検討したものであり、今後幅が広がる可能性はある。組

織機構の検討にあたる部分はこれからの課題である、と説明を受けた。

5. 議事

< 意見交換 >

保健所のあり方について、保健福祉部からの報告を受けて、意見交換を行った。

< 協議事項 >

地域からの提案事項

- ・ 地域医療に係る圏域の調整事務等について（留萌保健所）
- ・ 旅館業法におけるウィークリーマンション等の営業形態の明文化について
(名寄保健所)

地域保健の課題検討について

支庁制度改革・保健所のあり方検討等をふまえ、道立保健所の組織機構について検討・提案していく必要あり、相田所長をトップとする「地域保健の推進に関する委員会」(構成員：相田、岩田、岡崎、杉澤、中村、廣島)において早急に論点整理を行うことに決定した。

平成 19 年度第 3 回北海道保健所長会理事会

1. 日時 平成 20 年 3 月 21 日 午後 1 : 3 0 ~ 4 : 3 0
2. 場所 KKR ホテル札幌 3 階 アカシア
3. 出席者 道立保健所理事 9 名 政令市理事 1 名
4. 保健福祉部連絡事項(下記の事項について説明を受け、意見交換を行った。)
がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病の 4 疾病に関する医療連携体制構築(推進)に当たっての考え方について(健康推進課)
医師数等実態調査等への協力依頼について等(地域医師確保推進室)
救命救急医療体制調査検討について等(医療政策課)

5. 議事

(1) 報告事項

全国保健所長会理事会報告

- ・ 冷凍ギョウザ事件に関連して、保健所向けと厚生労働大臣宛にアピールを作成することになった。(すでに発信)
- ・ これに関連して、保健所の 24 時間体制について意見交換を行った。

各委員会からの報告について

相田委員会にて保健所機構あり方検討班「第一次報告」を作成。今後各会員に送付し意見聴取を経た上で速やかに成案をまとめることとする。

平成 19 年度事業実施状況について～特に異議なく了承される。

平成 19 年度予算執行状況について～特に異議なく了承される。

(2) 協議事項

地域からの提案事項について

- ・ 積極的疫学調査に従事する保健所職員の麻しん・風しんワクチン接種等に係る、全部ないし一部公費負担について(苫小牧保健所)
- ・ 健康危機管理体制強化のための薬毒物検査体制整備について(苫小牧保健所)

- ・北海道医療計画に係る地域推進方針（仮称）について（深川保健所）
 - ・新しい保健医療福祉計画（仮称）について（倶知安保健所）
 - ・北海道洞爺湖サミットについて（北見保健所）
- 平成 20 年度事業計画（案）について～特に異議なく了承される。
平成 20 年度予算（案）について～特に異議なく了承される。

【東北地域ブロック】

1. 第 1 回理事会

日時：平成 19 年 5 月 24 日（木） 12:30～13:30

場所：青森市 青森グランドホテル

(1) 「役員改選」について新役員決定

会 長	宮城県	塩釜保健所	菅沼 靖
副会長	秋田県	横手・湯沢保健所	永井伸彦
全国理事	宮城県	塩釜保健所	菅沼 靖
全国理事	秋田県	横手・湯沢保健所	永井伸彦
監 事	岩手県	花巻保健所	小泉 明
	山形県	最上保健所	井淵安雄

(2) 全国保健所長会の動向について

仁平理事（青森県 八戸保健所）

2. 総 会

日時：平成 19 年 5 月 24 日（木） 13:40～14:20

場所：青森市 青森グランドホテル

(1) 報告事項 役員改選について

- ・理事会で決定された役員改選について報告

(2) 開催県の会員（秋田県 秋田中央・大仙保健所長）を議長に選出して議事が進められ、次の議案がいずれも原案通り承認された。

議事

平成 18 年度事業報告、収支決算について

平成 19 年度事業計画、収支予算（案）について

平成 20 年度理事会及び総会開催について

(3) 情報交換（テーマ 医療制度改革、医療計画） 14:45～18:45

1) 話題提供 医療制度改革に関する論点と私の取り組み

演者 高知県中央東福祉保健所長 田上豊資(30分)

2) 話題提供 脳卒中地域連携クリティカルパスの作成と活用

演者 青森県五所川原保健所長 山中朋子(20分)

3) グループワーク 医療制度改革の中での保健所長の役割(60分)

4) 話題提供 医療計画本庁担当者の立場から

研修進行座長(10分)

5) 話題提供 各県における医療計画策定体制および進捗状況

演者 岩手県保健福祉企画室企画担当課長 野原 勝(15分)

6)全体ディスカッション 保健所長とは (45分)

3. 地域保健研究会

日時：平成 19 年 5 月 25 日(金) 9:00～12:00

場所：青森市 青森グランドホテル

(1) 講演

「日本における自殺の現状と地域での取り組み」

講師 青森県立精神保健福祉センター所長 渡邊直樹氏

(2) シンポジウム「地域での自殺予防の取り組みから」

シンポジスト 小松 真吾 先生(秋田県 大仙保健所)

小泉 明 先生(岩手県 花巻保健所)

佐々木綾子 先生(新潟県 村上保健所)

坂東 毅彦 先生(仙台市 宮城野保健所)

(3) 進行

基調講演とシンポジウムは仁平 将先生(青森県 八戸保健所)により進められた。

4. 第2回理事会

日時 平成 20 年 2 月 7 日(木) 午後 3 時から午後 5 時まで

場所 ウェルシティ新潟(新潟厚生年金会館)

〒950-0902 新潟県中央区南万代町 1 - 8

電話 025-243-3551 ファックス 025-243-3556

(1) 協議事項

1)平成 19 年度事業報告及び決算(見込み)について

2)平成 20 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

3)平成 20 年度東北地区地域保健研究会の協議議題について

4)各県からの提出議題について

5)その他

(2)意見交換会(懇親会)午後 5 時 30 分から

(3)その他

【関東甲信静地域ブロック】

1. 総会

日時：平成 19 年 6 月 29 日(金) 11:00～12:00

場所：神奈川県産業貿易センター 8 階特別会議室 (神奈川県横浜市)

議長：関東甲信静地域ブロック会長 岡部英男(神奈川県厚木保健所長)

出席者：33 名 委任状：48 名 総会は成立

議題など：

1)関東甲信静ブロック保健所長会会則の改正について

2)理事の選任について：

藤枝（茨城県）、藤木（千葉県）、岡部（神奈川県）が選任された。

- 3) 今年度から来年度にかけての本庁や保健所の組織再編について
- 4) 医療制度改革について：厚生労働省 前田光哉室長補佐
- 5) その他：次期開催県は茨城県

2. 研修会

日時：平成 19 年 6 月 29 日（金） 13:00～17:00

場所：神奈川県産業貿易センター 7 階 720 会議室（神奈川県横浜市）

出席者：保健所長 32 名及び本庁等関係者 3 名 合計 35 名

- 1) 挨拶：(財)日本公衆衛生協会 北川定兼理事長
- 2) 趣旨説明：全国保健所長会 澁谷いづみ副会長
- 3) 情報提供：

東京都における医療連携について

東京都医療政策部 吉田 勝副参事

神奈川県の医療連携からみた広域首都圏医療連携について

神奈川県厚木保健所 岡部英男所長

- 4) グループワーク：4 グループで行った。各グループのテーマ。

グループ 1 「がん」「救急医療」、グループ 2 「脳卒中」「精神科疾患」、グループ 3 「心筋梗塞」「周産期医療」、グループ 4 「糖尿病」「特定健診・保健指導」をテーマに議論し課題と方策をまとめた。

事前に各所長等にはグループ分けとテーマを指定して伝え、それぞれの県や地域の課題とその方策をまとめて参加していただいた。このグループワークではそれらを発表していただき、各グループごとにまとめ、最後にパワーポイントで発表していただいた。

- 5) まとめ：関東甲信静ブロック長 岡部英男（神奈川県厚木保健所）

平成 19 年度医療制度改革地域保健研修アンケート調査票「関東甲信静ブロック研修会のグループワーク」で、その内容について報告した。

3. 関東甲信静ブロック保健所長会 会長会議

日時：平成 20 年 3 月 11 日（火） 14:00～17:00

場所：東京都庁第一庁舎 25 階 108 会議室

出席者：9 県・2 市の会長（代理）の 11 名と東京都・区代表の合計 13 名

議長：関東甲信静地域ブロック会長 岡部英男（神奈川県厚木保健所）

議題

- 1) 広域首都圏医療連携について：9 県と東京都から、それぞれ医療制度改革で平成 20 年 4 月から取り組む 4 疾病、5 事業などを中心に医療連携について発表された。

今年度末にはそれぞれの都県で策定される、保健医療計画をもとに、より具体的な首都圏での 4 疾病 5 事業などの医療連携を図るため継続して、広域首都圏医療連携図の作成をすることとなった。作成については、都県での計画が策定された後、神奈川県が中心となって継続して行うこととなった。

- 2) 全国保健所長会第 3 回理事会報告について

- 3) 平成 19 年度事業報告、会計報告について：承認された。
- 4) 平成 20 年度の担当は茨城県で承認された。
- 5) 平成 20 年度事業計画について：承認された。

まとめ：今回の関東甲信静ブロック保健所長会 会長会議では、今年度の総会研修会での議題の一つとした「広域首都圏医療連携について」を主要な議題とした。

東京都を含めた首都圏の 9 県での議論を深める必要があるため、東京都庁の会議室で開催した。議題 1 については、都県での合同開催となった。

都県で策定する保健医療計画の進捗状況との兼ね合いもあり、年度内の医療連携図を作成することは困難であるが、首都圏相互の医療連携の第一歩となる重要な取り組みであるため、継続して作成する方針とした。作成は上述のように神奈川県が中心となって行う。

【東京地域ブロック】

(会員数計 31 人：特別区 23 人、東京都 7 人、八王子市 1 人)

1. 年次総会

- 1) 日時・会場：平成 19 年 4 月 26 日 東京厚生年金会館 葵
- 2) 出席者：出席 20 人 委任状 8 人
- 3) 議事

- (1) 平成 18 年度事業報告 承認
- (2) 平成 18 年度決算報告 監査報告 承認
- (3) 平成 19 年度事業計画(案)承認
- (4) 平成 19 年度予算(案)承認
- (5) 役員選出

会長：村主(新宿) 庶務幹事 齊藤(町田) 中西(練馬)
 会計：百済(多摩小平) 浦山(中野)

2. 臨時総会

- 1) 日時・会場：平成 19 年 8 月 28 日(火) 東京都児童相談センター
- 2) 議事： 全国保健所長会理事会報告
 感染症法改正対応の意見交換ほか

3. 研修会

平成 19 年度地域保健総合推進事業「医療制度改革地域保健研修(東京ブロック)」
 ~ 医療制度改革がもたらす地域保健への影響と保健所の対応 ~
 平成 19 年 4 月 26 日 参加者 45 名 (特別区保健所長 30 人、その他 15 名)

プログラム	講師	コーディネーター
事例提供・杉並区におけるメタボリックシンドローム対策	渡邊洋子	中西好子 浦山京子 長野みさ子 東海林文夫 嶋村清志
事例提供・板橋区における性差医療対策の取り組み	品川靖子	
事例提供・西多摩地域における地域医療連携体制の構築	石井直美	
グループワーク「各自自治体・圏域の保健医療が抱える課題」	各 G 代表	
講義「医療制度改革と医療費適正化計画」日本医大教授	長谷川敏彦	
話題提供「医療制度改革と東京都の取り組み」東京都医療政策部長	細川えみ子	

東京都児童相談所の現状と課題～保健所との連携を含めて～

平成 19 年 8 月 28 日（火）東京児童相談センター（新宿）

講師 杉並児童相談所長 田城 利明氏

参加者 特別区保健所長 16 名 東京都保健所長 5 名 その他 14 名

4. 懇親会

日時：平成 18 年 5 月 17 日（木） 午後 7 時より 9 時まで

場所：小田急ホテルセンチュリーサザンタワー 21 階 イーストルーム

参加者：現役保健所長 25 名、退職保健所長 3 名、来賓 12 名 計 40 名

退職者 石田 東生（前 台東保健所長） 北島 和子（前練馬区保健所長）

岡崎 卓見（前島しょ保健所長）

転入者 佐藤 恭信（島しょ保健所長） 中村 清純（品川区保健所長）

【東海北陸地域ブロック】

1. 第 1 回役員会

日 時 平成 19 年 5 月 25 日（金）13：30～16：40

場 所 石川県庁 11 階 1106 会議室

議 題

（1）平成 19 年度東海北陸ブロック保健所長会役員改選について

（2）平成 19 年度東海北陸ブロック保健所長会総会について

ア 日時 平成 19 年 7 月 27 日（金）11：15～12：00

イ 議事

ア）平成 19 年度東海北陸ブロック保健所長会役員（案）について

イ）平成 18 年度東海北陸ブロック保健所長会事業報告について

ウ）平成 19 年度東海北陸ブロック保健所長会事業計画（案）について

エ）全国保健所長会理事会の報告について

オ）その他

（3）全国保健所長会理事会の報告について

（4）地域保健研修について

ア 日時 平成 19 年 7 月 27 日（金）13：30～17：30

イ 内容

ア）各県からの現状報告

イ）実践報告

ウ）グループディスカッション

エ）講 演

（5）その他

ア 感染症法の結核の取り扱いについて

イ 中核市への保健所業務の委託について

ウ 結核患者の移送について

- エ 支所の見直しについて
- オ 保健所の外部業務委託の状況について

2. 第2回役員会

日 時 平成19年7月27日(金) 11:15～12:00

場 所 金沢都ホテル5階 朱鷺

議 題

- (1) 平成19年度東海北陸ブロック保健所長会総会・研修会について
- (2) その他

3. 総 会

日 時 平成19年7月27日(金) 12:15～13:00

場 所 金沢都ホテル 7階 鳳凰

議 題

- (1) 平成19年度東海北陸ブロック保健所長会役員(案)について
- (2) 平成18年度東海北陸ブロック保健所長会事業報告について
- (3) 平成19年度東海北陸ブロック保健所長会事業計画(案)について
- (4) 全国保健所長会理事会の報告について
- (5) その他

4. 医療制度改革地域保健研修

日 時 平成19年7月27日(金) 13:30～17:30

場 所 金沢都ホテル 7階 鳳凰

内 容

- (1) 話題提供
 - 各県からの現状報告
 - 各県の会長(代理)から説明
- (2) 研究班調査結果概要説明
 - 「地域保健の充実強化班 医療制度改革緊急アピール及び地方分権班調査結果」
 - 富山県新川厚生センター長 大江 浩 氏
- (3) 実践報告
 - ア 「仙南地区における在宅ホスピスケア推進事業の取り組み」
 - 宮城県仙南保健所長 高橋 達也 氏
 - イ 「地域ケア整備構想・モデルプラン(原案)(概要版)」
 - 北海道室蘭保健所長 荒田 吉彦 氏
- (4) グループディスカッション
 - 話題提供を踏まえて、医療計画、医療連携体制、地域ケア体制の整備における保健所の役割と課題についてグループで討議し、発表
- (5) 講 演

「医療構造改革について ～地域保健行政において保健所が担う役割～」

厚生労働省大臣官房参事官 岡本 浩二 氏

(6) 講 評

5. 役員会

日 時 平成20年2月22日(金) 14:00～13:00

場 所 三重県北勢地域地場産業振興センター(じばさん三重) 5階 小研修室

議 題

(1) 平成19年度東海北陸ブロック保健所長会決算報告について

(2) 平成20年度東海北陸ブロック保健所長会事業計画(案)について

(3) 平成20年度東海北陸ブロック保健所長会総会の開催について

(4) 全国保健所長会理事会の報告について

(5) その他

【近畿地域ブロック】

1. 第59回近畿保健所長会総会

日 時 : 平成19年5月23日(水) 10:00～11:40

場 所 : 大阪国際交流センター

大阪市天王寺区上本町 8-2-6

総会内容

(1) 表 彰

(平成18年5月18日開催の第45回日本公衆衛生学会近畿地方会演題より選考)

(207) 「ALS患者・家族交流会」5年間の取り組みから見てきたもの

(京都府中丹東保健所)

高橋美詠子、宮本ちひろ、堀口由緒

四宮裕美子、高橋彰、中村泰三

(607) ヒスタミンによる食中毒事例について

(兵庫県加古川健康福祉事務所)

栗田礼子、野田文子、松村益代

山口幹子、竹内能理子、川村隆

(801) 女性健康診査事業からみた若い女性の食生活に関する検討

～学校敷地内禁煙実施に向けた保健所の役割について～

(京都市保健所、京都市衛生公害研究所)

京都市保健所栄養士及び京都市衛生公害研究所研究グループ

(2) 提案議題

感染症法改正後の保健所の対応

出題者：大阪市保健所

各保健所からの事前アンケートを行い、意見交換を行った。

参考：平成19年度 地域保健総合推進事業 「医療制度改革地域保健研修」

日時：平成19年5月23日(水) 11:45～17:30

場所：大阪国際交流センター

大阪市天王寺区上本町 8-2-6

主催：財団法人日本公衆衛生協会(全国保健所長会)

内容：医療制度改革に関する講演、グループワークを取り入れた研修、先進地域の事例紹介を行い、保健所の役割を確認した。

2. 平成19年度近畿保健所長会連絡協議会

日時：平成20年2月8日(金) 13:30～16:30

場所：大阪府 関西空港検疫所

内容

講演 「空港における新型インフルエンザ対策」

講師 関西空港検疫所

所長 柏木悦郎

企画員 井村俊郎

施設見学 関西空港検疫所内

【中国・四国地域ブロック】

1. 平成19年度中四国ブロック保健所会総会

日時：平成19年6月7日(木) 13:00～14:10

場所：山口市 地方職員共済組合湯田保養所 翠山荘 2F カトレア

参加者：22名(会員数65名)

会長挨拶 香川県中讃保健所長

来賓挨拶 山口県健康福祉部長

自己紹介

議題(1) 平成18年度事業報告について

(2) 平成18年度収支決算について

(3) 平成19年度事業計画(案)について

(4) 平成19年度収支予算(案)について

(5) 規約改正(案)について

以上について、すべて承認された。

(6) 推薦委員会委員の選出について

(7) 次期開催県挨拶(愛媛県)

2. 平成19年度保健所長研修(中四国ブロック)

日時：平成19年6月7日(木) 14:20～18:30

8日(金) 9:00~12:00

場所：山口市 翠山荘

プログラム

平成19年6月7日(木)

14:20~主催者挨拶 日本公衆衛生協会 理事長

研修趣旨説明 全国保健所長会 会長

14:40~話題提供 テーマ 新しい医療計画における医療連携体制の構築を如何に行うか(各県の取り組み方法)

話題提供者 山口県健康福祉部医務保険課医療企画班企画監

高知県中央東福祉保健所長、鳥取県鳥取保健所長

15:30~グループワーク

17:00~講演 厚生労働省大臣官房参事官 岡本浩二

「地域保健行政における今日的課題~保健所が担うべき役割」

17:30~講演者との意見交換会

平成19年6月8日(金)

9:00~話題提供 テーマ 4疾患の医療連携事例

話題提供者 鳥根県浜田保健所長(糖尿病)、青森県五所川原保健所長(脳卒中)

鳥取県米子保健所長(糖尿病)

9:40~グループワーク

11:10~2日間の研修会のまとめ(意見交換)

11:50~アンケート記入後解散

3. 平成19年度中四国ブロック保健所長会理事会

日時：平成19年11月27日(火) 13:00~15:00

場所：岡山市 サン・ピーチ OKAYAMA 2階 サニーホール

参加者：7名

議題(1)平成19年度事業実施状況

(2)平成19年度収支状況

(3)平成20年度事業計画(案)について

(4)平成20年度予算(案)について

(5)その他

平成20年度からの会長は山口県、副会長は愛媛県となることが確認された。

また、今後の運営方針として、ブロック保健所長会総会に併せてブロック独自の研修会を実施し、内容については開催県で検討することなどが申し合わされた。

【九州地域ブロック】

九州ブロック総会・理事会・研修会等

1. 第1回理事会(大分県)

- (1)日時 平成19年7月12日(木)12:00~13:30
- (2)場所 ホテル白菊(別府市)
- (3)出席者 理事10名(全員)、監事1名、事務局4名 計15名
- (4)協議内容

1)報告事項

九州ブロック会長、副会長、全国理事

- ・18年度と同じ体制であることを報告。
- ・九州ブロック役員：土居会長(長崎県)、南部副会長(福岡市)
全国役員：土居理事(会長充て職)、平野理事(福岡県)
各県会長の改選に伴う理事の変更
- ・佐賀県 古川理事、熊本県 河津理事、鹿児島県 園田理事
監事の就任状況
- ・任期2年間、同時期の総会開催地の県保健所長会長が、当該会員の中から推薦し決定。
18年4月1日から福岡県・大分県の各1名が監事に就任。

2)議題

平成18年度事業報告及び決算、監事の監査報告

- ・事業は、理事会(2回、福岡県・長崎県)、総会・意見交換会・研修会(福岡県)を実施した。
平成19年度事業計画及び予算
- ・事業は、理事会(2回、大分県・福岡市)、総会・意見交換会・研修会(大分県)を実施計画。
、のいずれも、原案どおり承認され、総会に諮ることにした。
各県・市の提出議題について
- ・各県・市から提出された議題(11件)を、総会で意見交換していくこと了承。
次期の会長・副会長・全国理事について
- ・次期の会長は土居長崎県会長、副会長は南部福岡市会長、全国理事は古川佐賀県会長(平野福岡県会長は全国保健所長会の副会長へ就任)を選任し、総会に諮ることにした。
次期総会および理事会の開催地について
- ・20年度第1回理事会・総会の開催地の決定
開催地佐賀県予定を了承・決定され、総会に諮ることにした。
- ・20年度第2回理事会開催地の決定
開催地熊本県予定を了承・決定され、総会に諮ることにした。
- ・21年度開催地について
ローテーション表に基づき、開催地を予定(総会等は宮崎県、第2回理事会は沖縄県)していくこと了解し、総会に諮ることにした。
- ・19年度第2回理事会は、福岡市が当番として平成20年1月24日(木)に既に決定していることを報告。

2. 総会(大分県)

(1)日 時 平成19年7月12日(木)14:00~17:00

(2)場 所 ホテル白菊(別府市)

(3)出席者 会員30名、来賓1名、事務局4名 計35名
来賓 大分県医師会長

(4)協議内容

1)報告事項

19年度役員体制の報告

- ・九州ブロック会長、副会長、全国理事
- ・各県会長の改選に伴う理事の変更
- ・監事の就任状況

2)議題

平成18年度事業報告及び決算、監事の監査報告

平成19年度事業計画及び予算

、いずれも理事会での説明と同じ、原案どおり承認された。

各県・市の提出議題について

各県・市が抱える課題・問題点について、11件の議題が提出されており、出席者全員での協議がなされた。

- ・保健所検査業務の民間委託について(福岡県)
- ・麻疹対策について(福岡市)
- ・医療法改正に伴い義務付けされた医療安全に関する措置の診療所への指導・啓発状況について(北九州市)
- ・予防接種ワクチンの自治体単位の備蓄について(長崎県)
- ・特定健康診査及び特定保健指導について(長崎県)
- ・「メディカルエステ」と称する店舗の医療指導上の取り扱いについて(長崎県)
- ・保健所管内での新型インフルエンザ対策の進捗状況について(熊本県)
- ・健康危機管理対応を含む企画調整部門の役割について(大分県)
- ・麻疹の全数把握体制について(大分県)
- ・ノロウイルスをふまえた食中毒調査マニュアル等の見直しについて(鹿児島県)
- ・麻疹の発生時における対応について(沖縄県)

次期の会長・副会長・全国理事について

- ・次期会長は土居長崎県会長、副会長は南部福岡市会長、全国理事は古川佐賀県会長が承認された。

次期総会および理事会の開催地について

- ・20年度第1回理事会・総会の開催地の決定(佐賀県)
- ・20年度第2回理事会開催地の決定(熊本県)
- ・21年度の理事会・総会等の予定(宮崎県、沖縄県)
- ・19年度第2回理事会の開催について(福岡市)

いずれも、理事会での協議どおりで承認された。

3. 研修会

- (1)日 時 平成19年7月13日(金) 9:30~12:30
- (2)場 所 ホテル白菊(別府市)
- (3)出席者 105名(保健所長32名、保健所・市町村等職員73名)
- (4)内容等
 - ・大分県福祉保健部長の挨拶
 - ・報告
 - 報告者 宮崎県高鍋保健所長 瀧口 俊一
 - 「宮崎県における高病原性鳥インフルエンザ対策」
 - ・講演
 - 講師 国立感染症研究所 岡田 晴恵
 - 「地方自治体におけるH5N1新型インフルエンザ対策」

4. 意見交換会(12日、総会に引き続き開催)

大分県健康対策課長、別府市医師会長等の出席があり、総数32名で意見交換会が開催され、各保健所や所長職の抱える問題点について、情報交換を行った。

5. 第2回理事会(福岡市)

- (1)日 時 平成20年1月24日(木)
- (2)場 所 ホテルクリオコート博多
- (3)出席者 理事9名(全員)、事務局3名 計12名
- (4)協議内容
 - 1)議題

各県・市の提出議題について

各県、市が抱える課題・問題点について、5件の議題が提出されており、出席者全員での協議がなされた。

- ・動物愛護管理推進計画の策定等について(長崎県)
- ・保健所等に勤務する各種技術職の交流について(熊本県)
- ・新型インフルエンザ対策における「発熱外来」の設置について(大分県)
- ・結核患者への入院勧告及び入院期間の延長に係る感染症審査協議会へ諮問する際の診断書等の提出書類について(鹿児島県)
- ・保健所長の産業医活動について(鹿児島県)

平成20年度総会・理事会・研修会の開催日程・内容について

- ・第1回理事会・総会・研修会は、佐賀県で開催
7月10日(木)~11日(金)、「はがくれ荘」
 - ・第2回理事会は、熊本県で開催
- 平成20年度の役員について
- ・会 長 土居長崎県会長

副会長 南部福岡市会長
全国理事 土居長崎県会長
古川佐賀県会長
監事 安達大分県別府所長
佐賀県より推薦

全国副会長に平野福岡県会長が就任している。

その他

- ・全国理事の持ち回りについて
今後、検討することになった。
- ・平成19年度の決算見込みについて
事務局から、今年度の決算見込みについて説明した。

【指定都市部会】

今年度より、新たに新潟市と浜松市が参加し、17都市、59保健所となり、合計すると日本国民の約1/4を管轄することになります。

8月8日、午後2時から第64回全国保健所長会指定都市支部会が北九州市ホテルクラウンパレス小倉で開催されました。参加者は保健所長21名と事務局など数名で、会員が増えたためか活気ある中で始まりしました。

会議は催都市の挨拶にはじまり指定都市部会会長・副会長の選出があり、会長：南部（福岡市）、副会長：櫻井（名古屋市）が選出されました。その後出席者の自己紹介があり議題に移りました。

議題1 診療所における医療安全管理の指針など作成義務化について （提案市 仙台市）

医療法の改正により、病院、診療所又は助産所の管理者は医療安全を確保するための指針の策定及び従事者への研修が義務づけられましたが、この徹底に関して工夫・問題点を議論しました。例えば医療器具の安全管理についてメーカーにより医療機関へ伝えることが異なり検討、統一の必要性も言われました。

議題2 結核の新感染症法への対応について （提案市 名古屋市、北九州市）

改正法37条については1カ月ごと診査するようになっているが直近の菌検査の情報が得にくくどんな工夫ができるかなど議論しましたが、どこも大変そうでした。又クオオントィフェロンの導入については、予算化されているところも多く今後の効果的な活用が期待されます。

承り事項7項目については若干の質問があり、後は資料参照となりました

1. 医療観察法に係わる司法機関からの照会に対する情報提供について
2. 精神保健福祉地域ネットワーク会議（関係機関連絡会）について
3. エイズ・STD対策の取り組み状況について
4. 遊泳用プールの指導について
5. 医療制度改革に伴う特定検診・特定保健指導について

6. 介護予防事業の進捗状況について
7. 平成20年度からのがん検診について

18時半から2時間ほど意見交換会を行い、翌日は施設見学を行いました。最初に福祉用具プラザ北九州を見学し、町工場の多い北九州市ならではの利用者の要望を反映した福祉用具の開発を見学しました。その後、北九州市立大学ひびきのキャンパスに行き北九州市立大学国際環境工学部櫻井和朗教授による医学と工学を結びつけた最新の研究の講話を受講し、アカデミックな雰囲気の中で解散となりました。来年は福岡市で開催される予定です。

【特別区部会】 (会員数 特別区23人)

1. 年次総会

- 1) 日時・会場：平成19年4月26日 東京厚生年金会館 葵
- 2) 出席者：出席10人 委任状8人
- 3) 議事
 - (1) 平成18年度事業報告 承認
 - (2) 平成19年度事業計画(案)承認
 - (3) 役員選出
第1ブロック：大井(千代田)、第2ブロック：大黒(文京)、第3ブロック：三好(大田)
第4ブロック：中西(練馬)、第5ブロック：井口(江東区)

2. 臨時総会

- 1) 日時・会場：平成19年8月28日(火) 東京都児童相談センター
- 2) 議 事： 全国保健所長会理事会報告
感染症法改正対応の意見交換ほか

3. 定例会

定例開催：特別区保健衛生主管部長会終了後

開催日：4/5、5/10、6/7、7/5、9/6、10/11、11/1、12/13、1/10、2/7、3/13

医師臨床研修平成20年度実施分の病院からの受付：5月締め切り

特別区内の47病院、418名の研修医の受入れ希望があり23区保健所に配分調整

特別区全体の調整案 19/7/5 提示 19/9/6 最終決定

5月10日

- ・東京都各種審議会等委員選出
- ・全国保健所長会名誉会員の推薦 元墨田区保健所長 澤節子
会長賞推薦 三井公夫(板橋区)、多田久子(足立区)
- ・麻疹の流行に関するの情報交換

7月16日に発生した中越沖地震について、新潟県の要請に応じて特別区保健所も東京都と合同で職員を派遣することを決定した。

9月6日

- ・東京高裁和解を受けた大気汚染医療費助成制度について特別区での取扱い（協議）
- ・妊婦健診公費負担制度拡大実施に向けた検討 23区標準方式について検討する
- ・中越沖地震保健師派遣（都区合同派遣）報告

7月25日から7月30日 世田谷区保健師2名

7月30日から8月4日 足立区保健師2名

8月4日から8月9日 豊島区保健師2名

8月9日から8月14日 大田区保健師2名

8月14日から8月19日 練馬区保健師2名

10月11日

大気汚染医療費助成制度特別区での受け入れについて（中間報告）

平成19年度高齢者インフルエンザ予防接種検討

12月13日

大気汚染に係る健康障害者に対する医療費助成に関する条例等の事務移譲について
高齢者インフルエンザ予防接種について

2月7日

地域保健総合研究事業（保健所長会協力事業）について

3月13日

助産師学校新設による保健所実習について

平成20年度特別区における新型インフルエンザ対策検討について

板橋区保健所・板橋健康福祉センター移転について

各定例会で委員会代表委員報告

東京都保健医療計画推進協議会 代表委員報告（台東 永見）

東京都医療費適正化検討会 代表委員報告（練馬 中西）

東京都がん対策推進協議会 代表委員報告（中央 大倉）

東京都地域医療対策協議会 代表委員報告（千代田 大井）

東京都新型インフルエンザ専門家会議報告（練馬 中西）

4. 研修会

平成19年度地域保健総合推進事業「医療制度改革地域保健研修（東京ブロック）」
～医療制度改革がもたらす地域保健への影響と保健所の対応～

平成19年4月26日 参加者45名（特別区保健所長21、その他24名）

東京都児童相談所の現状と課題～保健所との連携を含めて～

平成19年8月28日（火）東京児童相談センター（新宿）

講師 杉並児童相談所長 田城 利明氏

参加者 特別区保健所長16名 他19名

【政令市部会】

部会会員

- ・平成19年9月末現在、中核市35、政令市8市で、保健所は各市1保健所活動報告

- ・平成19年度全国保健所長会政令市部会総会
 - 平成19年10月22日、松山全日空ホテル
 - 28市28保健所出席
 - 議題
 - ・ 麻しん、日本脳炎など予防接種に関する国への要望
 - ・ QFT検査の実施状況など
- ・平成20年度全国保健所長会政令市部会総会開催予定
 - 平成20年10月30日、オオムタガーデンホテル
 - 議題予定
 - 未定

その他

- ・部会会員名簿作成